

地域連携シンポジウム「きたまちディスカッション」 実施報告書

日時：平成30年7月16日（月・祝）13:00～16:30（正午開場）

場所：鼓阪小学校講堂

内容：①オープニングトーク「地域をデザインする方法」

奈良女子大学教授、

同大和・紀伊半島学研究所なら学研究センター長 寺岡伸悟氏

②地域のみなさんの考えを知ろう！

・参加者に聞くコーナー

・「あったら良いもの」「もったいないもの」を考えよう

③ディスカッション「奈良きたまちの これまで と これから」

コーディネーター 奈良きたまち week 実行委員会 倉橋みどり氏

パネラー 鼓阪地区自治連合会、転害門前旧銀行建物活用協議会会長 和東海治郎氏

鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会会長 八木富造氏

南都銀行手貝支店支店長 乾 岩和氏

奈良市観光経済部 奈良町にぎわい課長 徳岡健治

④グラフィック・レコーディング（イラストや文字によるシンポジウムの逐次記録）

共催：奈良きたまち week 実行委員会、奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所なら学研究センター

同大学社会連携センター、奈良市

協力：鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会、転害門旧銀行建物活用協議会、

NPO法人文化創造アルカ

<参加者数>

来場者：135人

地域のみなさんの考えを知ろう！参加者数：77人

アンケート回答者数：56人



きたまちディスカッション
地域のにぎわい・未来をデザインしよう

10年後は
どうなるの？

きたまちの
ここが好き！

こんな
スポットが
ほしいなあ

歴史の
モザイク
ってなに？

きたまちって
どのあたり？

奈良きたまちの魅力をみんなで見つけよう。
5年後、10年後も、
ずっと大好きなまちであり続けよう。
ぜひみんなに語り合おう。

新奈良まち
歩きガイド
無料

オープニングトーク 午後1時～
「地域をデザインする方法」
寺岡伸悟先生
（奈良女子大学教授、同大和・紀伊半島学研究所なら学研究センター長）
〈地域のみなさんの考えを知ろう！〉

ディスカッション 午後2時30分～
「奈良きたまちのこれまでとこれから」
コーディネーター
倉橋みどり氏（奈良きたまち week 実行委員会）
パネラー
和東海治郎氏（鼓阪地区自治連合会、転害門前旧銀行建物活用協議会会長）
八木 富造氏（鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会会長）
乾 岩和氏（南都銀行手貝支店支店長）
徳岡 健治氏（奈良市観光経済部 奈良町にぎわい課長）

同時開催
きたまち ふれあい
マーケット
主催：奈良きたまち week 実行委員会
正午～午後4時まで 会場前スペースにて
おいしいもの、すてきなものがいっぱい！
参加予定店：Some sweets&coffee・NPO 法人 この場と
まいる 21 地区子ども園開放がトラベル・とくなくらい
ぶらぶら 藤原・とんかつ焼肉アタタエスプレッソと・お
食家部たばな・アジアンマール・ギョウザリー・花
market・マール・エール・エジソンカフェ
※変更の可能性があります

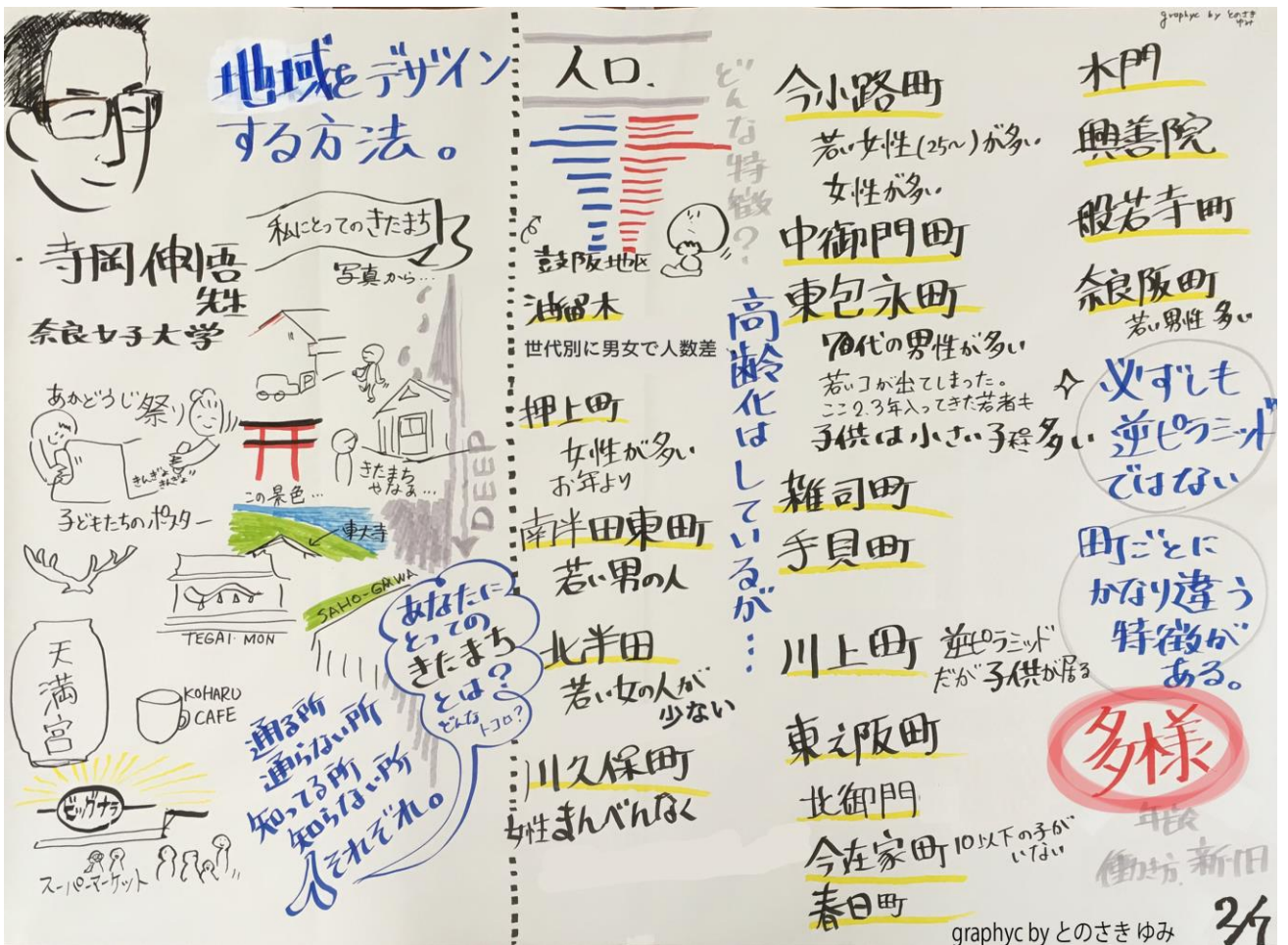
入場
無料
お申し込み
不要です

7月16日 平成30年
午後1時～4時
鼓阪小学校講堂

共催：奈良きたまち week 実行委員会、奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所なら学研究センター、社会連携センター、奈良市
協力：鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会、転害門前旧銀行建物活用協議会、NPO 法人文化創造アルカ

<グラフィック・レコーディング> (イラストや文字による逐次記録)

- ①オープニングトーク「地域をデザインする方法」
- ②地域のみなさんの考えを知ろう！
- ③ディスカッション「奈良きたまちの これまで と これから」



柏市 布施新町の例

半分が
高齢者!!

住民 大学 自台体

ビッグラのスーパー 0~50歳

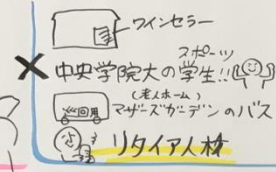
月に1日は参加できる 活動のある町に!

アイデアを出し合う

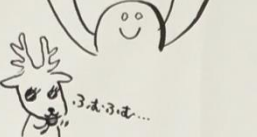
↓
実現する

貼出して
投票する。

組み合わせる。



はい いいえ



来てます!! きてネ!!

- きたまちに住んでいる YES No 五部 五部
- この5年できたまちにきた。 YES No が 多い
- 5年後もきたまちに住みたい。 YES! No 12
- きたまちが好きですか? YES
- 最近にぎわっている? 寂れてきた? 2

6年前に住んでいる。先入観かもしれないが「もと賑わいを作らな」という印象

賑やかになりつつある 昔と比べて... 3と5の頃はスーパーも無かったが、最近ではカラオケも見える。ならまち程ではないが、イベントもまちよく有る。

● 「ならまち」を意識している? NO. が 多い。

まちの作りが違ふからならまちが賑わっている どちらとも 歴史的に 緒 西が良くなってほしい

● 「きたまち」違和感がある NO が 多い。

行政の補助に かなたよりが あったとがある。

⇒ 続く 3/7

graphyc by とのさき ゆみ

● きたまちはこのままでいい? NO

● きたまちは変わる必要がある? YES

ならまちのマンサに多い。きたまちは在野でボランティアしている。どちらもよくなるように。きたまちは比較的よい。

にぎわいはある 観光客が多い。住みやすさは... いろいろに歩く。

● 家の将来について 親子で話しをしたことがある。 Yes < No

「集落点検」という方法でした。

休憩中は... ふれあいマーケット

現在 運営 100%

協働 市の観光課へ

地域の役どころ!!!

6つの 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年

声かけたい 声かけたい

10年前 鋼屋町!!!

子どもが多かった...

和東 海台郎 八木 富造 乾 岩和 徳岡 健治

長らく 住んで 知っている。 外に出たこと ない。

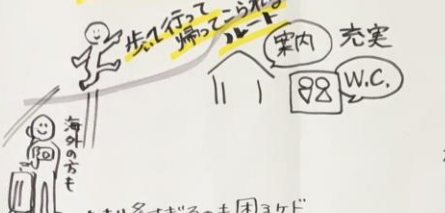
H25は「下書きの室」 課長 山田

「長い」きたまちはならまちとの長年 119年 H19年 H25年 寺を中心に なるまちの会 員

graphyc by とのさき ゆみ

5年後のなりましたまち

徳 58歳 in 中役所
旧奈良監獄 全館...!!
木造!!
歩いてほしい



あまり多すぎると困るけど
今おちおちと人が多いいな...
空家改修の借金
バカにしてきた

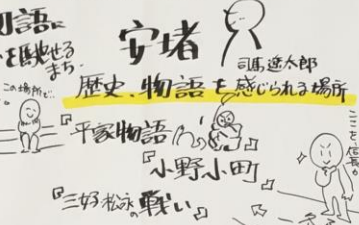
バカツ
ぶちやめた話
今のように
静かであってほしい。
を残しながら、発展してほしい。

本当の奈良の味のよさを失わず
ひっそりとにぎやかに。

若い頃...もと
日常に馴染んだ店が多かった
コエが...あつた。

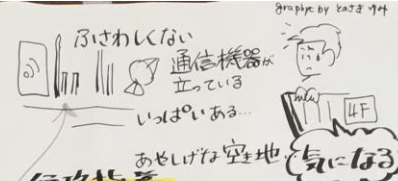
和 来年 バイタル
3年後 ホテル できる。
賑やかにになる
なりすぎる...?

世界遺産 東大寺
物語
想い馳せるまち



宇堵
司馬遼太郎
歴史 物語も感じられる場所

部分別的
電線地中化
してほしい
奈良のまち
うすばなり暗い...
8年前移住
まちづくりの
具体的な関わり方
を知りたい



行政指導
目を光らせてほしい。
地域住民の方も。
奈良市
景観を壊さない
ようにしたい。
現在 検討しています

住民の
意見を
すい上げて...
外から
来たひと
には特に

ボランティア人!!
ひとりでも居るとか
大きい!!
1回3時間
1回
ボランティアは
観光案内所
のぞいて下さい!

graphic by とのさき ゆみ

4年前
29年ぶりに帰ると
カラスが多い
奈良の
取組
行政の方にも関って
ほしい。

奈良女子大 付近
ちびニ
cafe
長屋になつては
ちびニ
Somi
Sweets &
coffee
藍布

不動産 見かけは
借りたない
空家はあつたのに...
機能
空家バンク
している?

銀光地の方
仲介できる方
協力
したい

大阪相場
8万
相場の
合かないと
ツライ!!
20万 3万
移らなさいって
なんで!!

センより。
あたらしいな

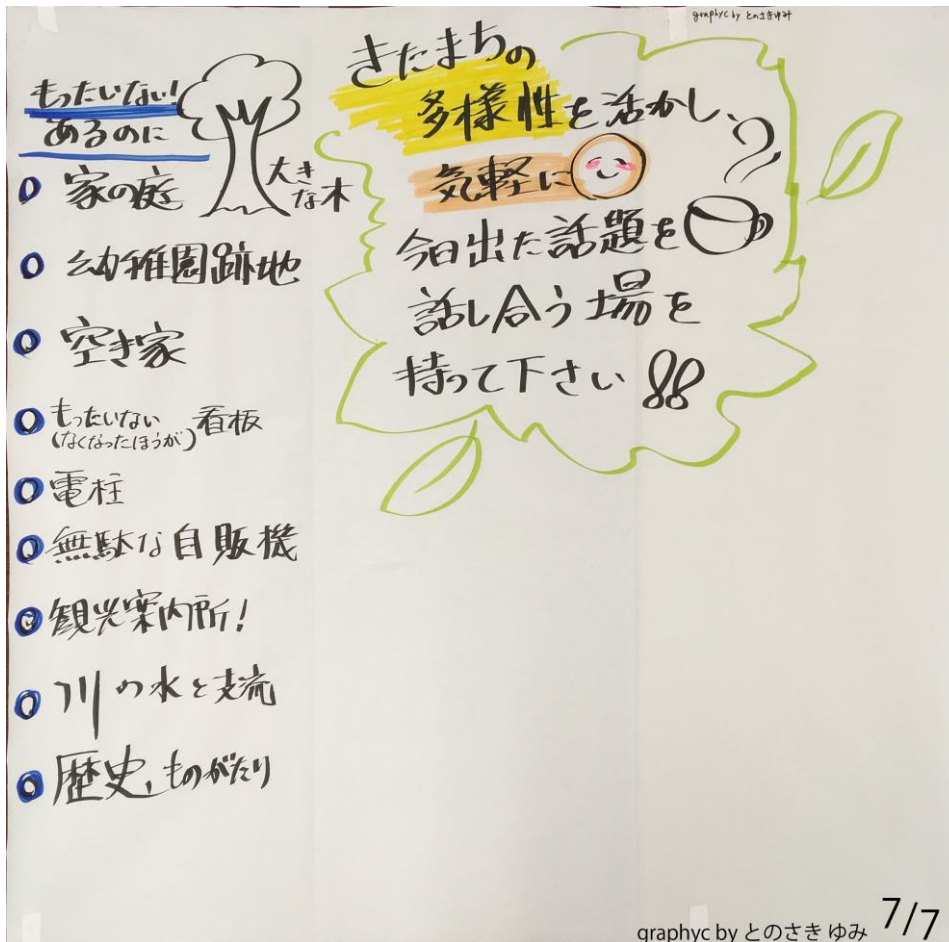
- 文化的
 - 映画館ほしい!
 - 図書館ほしい!
- 子ども
 - 子どもの図書館
 - 安心して遊べる場所
 - 駄菓子屋さん
 - 子どものない世帯が
に開れるしくみ
- 旅行者
 - バックパッカーのinn
 - Mobike 自転車場
- 空家生かしてくる
大家さん

集会場
いつでも、あつと
寄れる

- 川辺(木田)の公園
- 公園、ビーチ、市場、コエニ
多機能HIL
- お店、立ち飲み、晩ごはん
食べられる
年配の方の衣類
- シェアアトリエ
- 働く外国人から
料理教えて
もらえる

6/7

graphic by とのさき ゆみ



※グラフィック・レコーディングは、ディスカッションの逐次記録であり、参加者の発言内容と記載表現が、必ずしも一致しない場合がありますので、ご了承ください。

●graphyc by とのさき ゆみ



<地域のみなさんの考えを知ろう！>

①参加者に聞くコーナー

寺岡教授が聞く 10 の質問に対して、Yes なら赤色の、No なら青色のフリップを上げてもらいました。

②「あったら良いもの」「もったいないもの」を考えよう

付箋に、きたまちに「あったら良いもの」、きたまちにある「もったいないもの」を書きだしてもらいました。



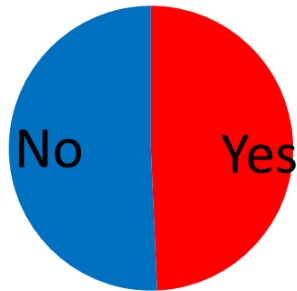
<地域のみなさんの考えを知ろう！>

参加者に聞くコーナー 集計結果

Q 1、奈良きたまちに住んでいる人

Yes : 36 人

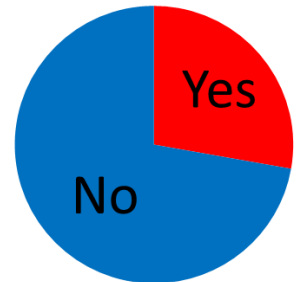
No: 37 人



Q 2、この5年に奈良きたまちに来た人

Yes : 10 人

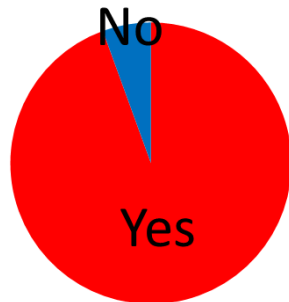
No: 26 人



Q 3、5年後もきたまちに住みたい人

Yes : 34 人

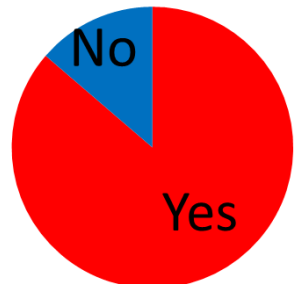
No: 2 人



Q 4、奈良きたまちが好きですか

Yes : 63 人

No: 10 人



Q 5、最近、奈良きたまちは賑わっている

Yes : 42 人

No: 31 人

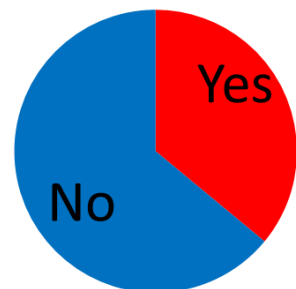


Q 6、ならまちを意識している

Yes : 27 人

No: 48 人

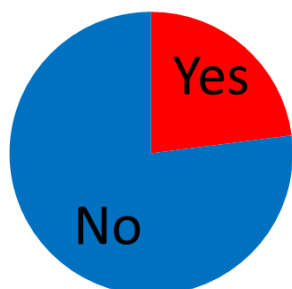
(両方回答 1 人)



Q 7、きたまちという名前に違和感がある

Yes : 17 人

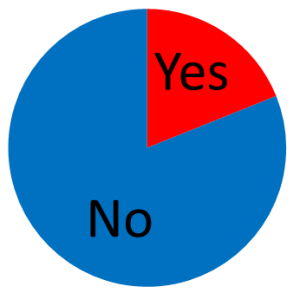
No: 57 人



Q 8、奈良きたまちはこのままでいい

Yes : 14 人

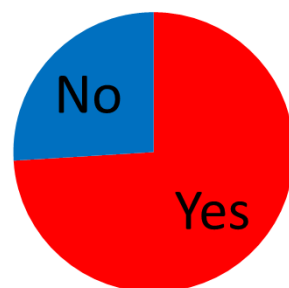
No: 60 人



Q 9、奈良きたまちは変わる必要がある

Yes : 57 人

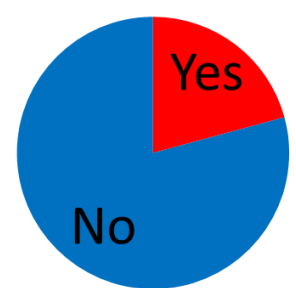
No: 20 人



Q 10、家の将来について親子で話したことがある

Yes : 16 人

No: 61 人



<地域のみなさんの考えを知ろう！>

「あったら良いもの」「もったいないもの」を考えよう 結果

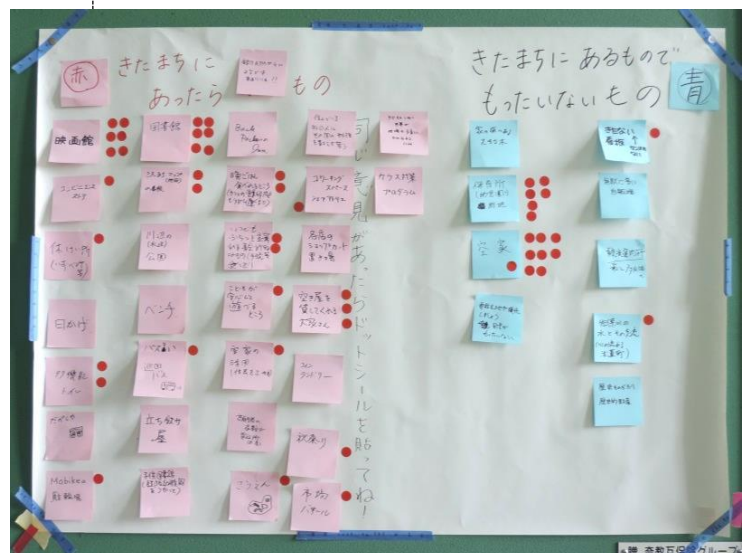
きたまちに「あったら良いもの」

- ・映画館 7人
- ・図書館 7人
- ・子ども図書館（鼓阪幼稚園跡地を使って）
- ・子どもが安心して遊べる場所 2人
- ・駄菓子屋
- ・子どものいない世帯が
地域の子育てに関われる仕組み
- ・いつでもふらっと立ち寄れる集会所
（手続きなしで） 3人
- ・日かげ
- ・川辺（水辺）の公園
- ・公園 2人
- ・休憩所（いす・ベンチ付き） 2人
- ・ベンチ
- ・多機能トイレ 3人
- ・立ち飲み屋
- ・晩ごはんを食べられるところ 3人
- ・高齢者の衣類が買えるところ
- ・市場バザール 2人
- ・コンビニ 2人
- ・銀行ATM
- ・巡回バス、バス停 2人
- ・コインランドリー
- ・各お店のショッピングカード置き場

- ・Back Packer の Inn
- ・きたまちマップの看板
- ・Mobike の駐輪場 2人
- ・空き家の活用（住民をふやす） 2人
- ・空き家を貸してくれる大家さん 4人
- ・コワーキングスペース（シェアアトリエ）
- ・住んでいる外国人に
その国の料理を教えてもらう
- ・カラス対策プログラム
- ・秋祭り 2人

きたまちにある「もったいないもの」

- ・家の庭にある大きな木
- ・幼稚園跡地 7人
- ・空き家 10人
- ・きたない看板 2人
- ・電柱
- ・自動販売機（無駄に多い）
- ・観光案内所（もっと多目的に）
- ・佐保川の水と支流（川の流れる法蓮町） 2人
- ・歴史ものがたり、歴史的財産



<アンケート>

きたまちディスカッション 参加者アンケート

本日は、きたまちディスカッションにご参加くださり、ありがとうございます。みなさまのご意見を今後のまちづくりに活かしていきたいと思っておりますので、アンケートにご協力をお願いいたします。

Q1、どちらにお住まいですか。

- A、市内（奈良きたまち） B、市内（ならまち・京終エリア）
C、市内（奈良町以外） D、市外（ ） E、県外（ ）

Q2、きたまちディスカッションについて、どこで知りましたか。

- A、チラシ B、しみんだより C、インターネット・SNS
D、その他（ ）

Q3、きたまちディスカッションの何に興味があつて参加しましたか。

（複数回答可）

- A、寺岡教授のオープニングトーク B、地域の人のディスカッション
C、奈良きたまちのにぎわい D、奈良きたまちの未来
E、グラフィックレコーディング F、きたまちふれあいマーケット
G、その他（ ）

Q4、きたまちディスカッションに参加してどうでしたか。その理由を教えてください。

- A、とても良かった B、良かった C、ふつう
D、良くなかった E、とても良くなかった

理由：

Q5、きたまちディスカッションに参加して、今後、奈良きたまちのまちづくりに関わっていきたいと思いませんか。

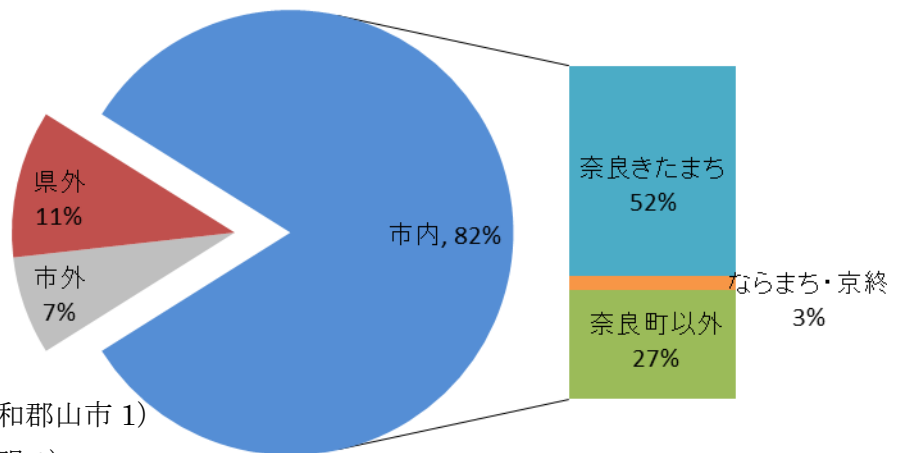
- A、関わっていきたいと思う
B、関わっていきたいと思わない（理由： ）

アンケートは以上です。ありがとうございました。

<アンケート結果>

Q 1、どちらにお住まいですか。(56人回答)

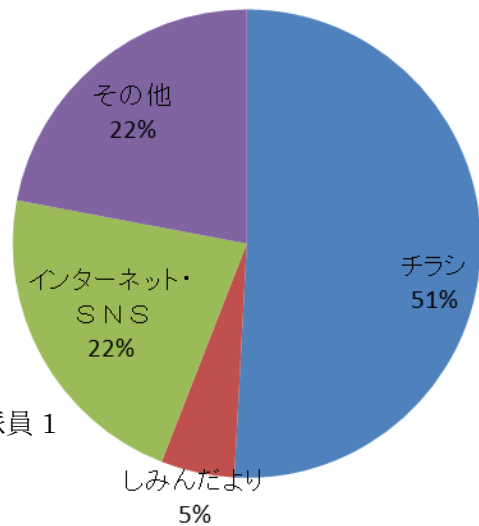
項目		回答数
市内	奈良きたまち	29人
	ならまち ・京終	2人
	奈良町以外	15人
市外		4人
県外		6人



- ・市外 (天理市 1、生駒市 2、大和郡山市 1)
- ・県外 (京都府 1、東京都 3、不明 2)

Q 2、きたまちディスカッションについて、どこで知りましたか。(複数回答)

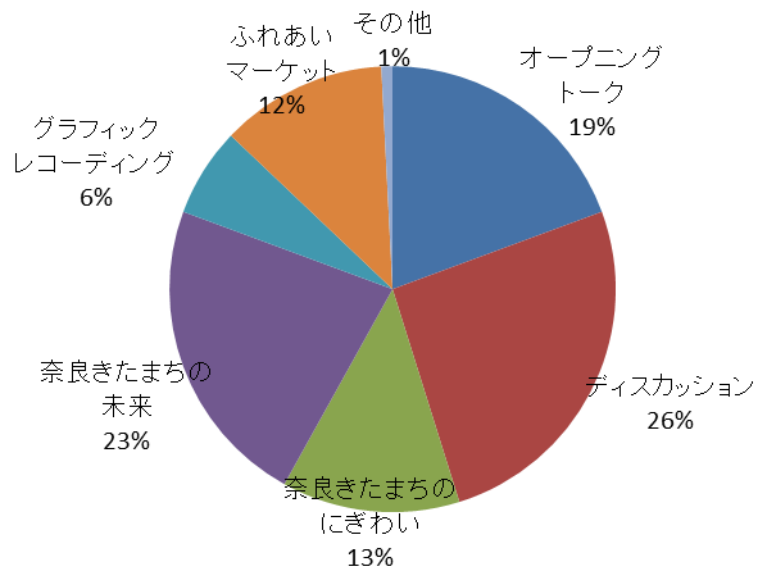
項目	回答数
チラシ	30人
しみんだより	3人
インターネット・SNS	13人
その他	13人



- ・その他 (知人の紹介 3、家族からの紹介 1、奈良の観光特派員 1 寺岡教授からの紹介 2、旧鍋屋交番観光案内所 2、新聞 1、不明 3)

Q 3、きたまちディスカッションの何に興味があつて参加しましたが。(複数回答)

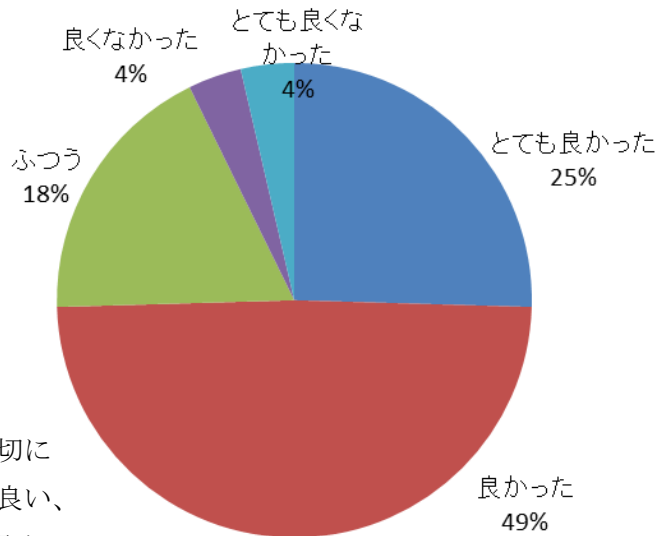
項目	回答数
寺岡教授のオープニングトーク	24人
地域の人とのディスカッション	32人
奈良きたまちのにぎわい	16人
奈良きたまちの未来	28人
グラフィック・レコーディング	8人
きたまちふれあいマーケット	15人
その他	1人



- ・その他 (なべかつでボランティアをやっているので、いろいろな人の意見を聞きたくて)

Q 4、きたまちディスカッションに参加してどうでしたか。その理由を教えてください。(複数回答あり)

項目	回答数
とても良かった	14人
良かった	27人
ふつう	10人
良くなかった	2人
とても良くなかった	2人



■とても良かったと答えた人の理由

- ・変わらない価値、変わってほしくない良い面を大切にすることと、世の中の変化に応じて変わった方が良い、変わらざるを得ないこと、このジレンマはどこの町にもあるので、少しでも町に関心をもってもらいディスカッションすることが大事なのだと改めて思った。
- ・寺岡教授のトークはとても良かった。
- ・若草地域で3年間仕事をさせてもらっていた。住む場所としても、訪れる場所としても発展してほしい。
- ・きたまちの歴史、現状、将来への展望を聞くことができた。
- ・きたまちのこと、きたまちへの思いを知ることができた。変えたいこと、変わってほしくないこと、いろいろ感じる事ができた。
- ・にぎやかさ一つとっても、大事なことはその質、中身なのだと思います。そのためには、ほんの一握りでも互いに思いをはせる心遣いが大切なのかもしれません。
- ・まちのことを考えている人の様々な意見が聞けた。
- ・奈良の町のことをいろいろと考えている人の考えを聞いたので良かった。
- ・オープニングトークの内容は目から鱗だった。
- ・新奈良町にぎわい構想については、分かりやすかった。
- ・知らないことが多くあり大変ためになった。

■良かったと答えた人の理由

- ・参加者が非常に少なかったが、きたまちに対する知識が高められる感じが強く、楽しく話を聞くことができた。
- ・良い話だったが、マイクの音が聞こえにくく、会場が暑かった。
- ・年代差が如実に表れたと感じた。
- ・きたまちの知らなかったこれまでの歴史などに触れることができて良かった。
- ・きたまちの名称の理由が分かった。
- ・地元の昔の話が聞け、懐かしく思った。
- ・「あったらいいもの」と「もったいないもの」の可視化は試みとしておもしろいと思った。
- ・きたまちのにぎわいの今後について興味がある。
- ・きたまちについて知ることがあった。

- ・「物語に想いをはせる町」という言葉1つに集約されると思う。とてもキャッチな言葉。今日は来てよかった。
- ・地域社会の事に関心を持つ機会が持てた。
- ・きたまちに越してきたもののなかなか全体像が分かっていなかったなので、いろいろな方の意見が聞けて良かった。
- ・自分が課長になったら、きちんと住民の方を見て意見を聞き、付箋で出した意見などをメモすることができる人間になろうと思った。
- ・グラフィック・レコーディングは素晴らしい手法だと思った。
- ・参加者の大まかな意見が分かった。
- ・いろいろな人が参加していて良かったと思う。
- ・集落点検がおもしろかったが、ディスカッションの時間が少なすぎた。
- ・ならまちときたまちを区別する必要がないと思った。
- ・外国からの観光客の増加に対する対策を考える必要があると思う。
- ・生の声できたまちについて知ることができた。
- ・地元の人のお話などは興味深かったが、一回のディスカッションでは何かすごく新しい話が出てくるわけではないと感じた。
- ・改めて町の実情が分かった。
- ・きたまちの未来を考えるきっかけになった。

■ふつうだと答えた人の理由

- ・プログラムは良かったが、会場が暑かった。
- ・両会長の考えに共感した。
- ・説明が必要な「きたまち」の名称は良くない。
- ・グラフィック・レコーディングがもっと見やすい場所にあった方が良かった。
- ・歴史があり、かつ、静かなきたまちに魅かれて8年前に引っ越してきた。衰退しないためにはゆっくりと変わり続ける必要があると思う。そのための工夫や方策についてもう少し突っ込んで聞いてみたかった。
- ・パネラーの人の話がすごく良かった。
- ・会場が暑く、このような会合ができる公民館が欲しい。
- ・昔のように近所の人と会うとまず挨拶するというコミュニケーションが無いとまちは良くなれないと感じている。昔からの住民で完結している感じがする。
- ・マイクが悪いのか、言葉がはっきり聞き取れず残念だった。
- ・葬儀場をドリームランド跡地に建てると一番良いと思う。
- ・パネリストの一方的な話が多かったので、もう少しパネリスト間の相互のディスカッションが聞きたかった。
- ・ならまちだけでなく、きたまちも共に発展してほしい。
- ・参加者同士のワークショップがあればなお良かった。
- ・パネラーに女性も登壇してほしい。
- ・テーマをもう少し絞って、話を深めた方が良かったのでは。
- ・会場が暑かった。休憩が長すぎたので間延びしたように思う。

■良くなかったと答えた人の理由

- ・パネルディスカッションは良くなかった。ディスカッションになっていなかった。一人一人の話が長く、主張の時間という感じで時間が経過して残念だった。きたまちの現状の縮図が現れているように思った。
- ・「自分のこと」「維持」「保存」と聞くと、やはり今後もあまり変わらないと感じた。せつかくこのような場があり、寺岡教授の講演で変わろうとするきっかけが生まれたり、学べたと思ったが、後半のディスカッションがそれを打ち消す残念な状況だったように思う。
- ・課題は出たが、その解決法に対する提言や実行案がなかった。

■とても良くなかったと答えた人の理由

- ・タイトルのディスカッションになっていなかった。
- ・古い町を保存するという考え方が、若者が出て行く原因だと思う。保存だけなら、若者以外で守っていけば良いのではないかな。若者がどんどん減っていくように思う。
- ・パネルディスカッションは、それぞれの話が長すぎた。しかし、それを分かりやすくイラスト化したグラフィック・レコーディングの人はすごいと思った。

■その他

- ・変わらない町ではダメだと思った。
- ・市民が自慢できる町にするためには、町民一人ひとりが自慢できる町にならないといけないと思う。

<当日の様子>



